

# 2024年5月第2回理事会議事録

日 時：2024年5月24日（金）16：00～17：30

場 所：千葉大学法政経学部棟2階第1会議室・オンライン会議

出 席：辻 秀人・大竹幸恵・佐藤宏之・足立佳代・足立拓朗・岩本 崇・大坪志子・岡林孝作・亀田直美・小菅将夫・澤田秀実・高倉 純・田尻義了・谷口 榮・谷畑美帆・野口 淳・肥後弘幸・日高 慎・藤沢 敦・藤野次史・水本和美・溝口孝司・山崎和巳、監事：都築恵美子・萩野谷 悟、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：黒澤 浩

進 行：藤沢 敦

議 長：辻 秀人

藤沢理事から、本日の出席者は25名（うち理事23名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

## 会員の訃報について

小菅理事から、神奈川県の新山博久会員が4月20日、大分県の萩 幸二会員が4月23日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

## 議案第771号 退会会員の承認について

小菅理事から、海外の\*会員から2023年度をもつての退会届、山形県の\*会員、群馬県の\*会員・\*会員、千葉県の\*会員・\*会員、東京都の\*会員、神奈川県の新山博久会員、静岡県の新山博久会員、京都府の\*会員、島根県の\*、長崎県の\*会員、熊本県の\*会員から2024年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

## 議案第772号 埋蔵文化財保護対策委員会委員の選任について

藤野理事から、全47都道府県の2024～2025年度の委員名簿が提示され、委員長に愛媛県の吉田 広会員、副委員長に福島県の菊地芳朗会員及び福岡県の田尻義了会員を選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

## 報告第1004号 第90回（2024年度）総会実施要項の再確認について

野口理事から、「第90回総会実施要項」に基づき、会場及びオンラインでの参加予定人数や日程、理事の役割分担が確認され、また総会・研究発表会の進行及び各会場のオンライン配信設備等の説明があり、了承された。

## 報告第1005号 2023年度事業の総会口頭報告について（追加のみ）

5月第1回理事会以降に追加提出された、第90回（2024年度）総会議事における説明原稿が提示され、各理事に定時総会における円滑な進行の確認があり、了承された。

## 報告第1006号 各委員会等における2024年度会議等報告について（その2）

### 1 埋蔵文化財保護対策委員会の報告

藤野理事から、5月12日（日）に幹事会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①港区高輪築堤跡について、4月15日にJR東日本が羽田アクセス線における高輪築堤等の調査・保存についてのプレスリリースが行われたことが報告され、今後の5・6街区の対応等も引き続き注視して、会長声明発出後の対応を慎重に行うこととした。②小山氏琵琶塚古墳について要望書の回答があった。③鴨川市・南房総市嶺岡牧について、両市に保存要望書を提出することとした。④令和6年能登半島地震における文化財被災状況について情報提供があり、災害対応委員会への協力を確認した。⑤北九州市旧門司駅跡について、日本イコモス国内委員会を通じて国際産業遺産保存委員会会長の声明が発表されるとともに、日本イコモス国内委員会の溝口孝司副委員長が個人的な立場で記者会見を行ったことが報告された。⑥各地から今後の状況を注視すべき遺跡について報告があったとの報告があり、了承された。

続けて北九州市門司駅跡について、溝口理事から、5月第1回理事会で了承された「初代門司駅遺構の保存を求める11学会合同要望」を5月21日付けで提出したことが報告され、引き続き協力が求められた。

## 報告第1007号 名義使用の後援に関わる承認について

山崎常務理事から、九州国立博物館（兼福岡県立アジア文化交流センター）から「全国高等学校歴史学フォーラム2024」についての後援（名義）依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

### その他

#### 1 【EBSCO】学術論文データベース収録の協会機関誌への依頼について

山崎常務理事から、EBSCOから当会発行の機関誌『日本考古学』及び『Japanese Journal of Archaeology』について、学術論文データベースへの収録依頼があったとの情報提要があり、佐藤副会長から補足説明が行われ、次期理事会での検討が求められた。

#### 2 総会第6号議案「大学教育と考古学に関する小委員会」（仮称）の設置について

5月25日（土）の定時総会における第6号議案「その他」で扱う「大学教育と考古学に関する小委員会」（仮称）の設置について、審議、進行が再確認された。

以 上

